

11月18日(土) 開場12:30

13:00—18:00 共通講義棟2号館201号室

お茶の水女子大学副学長挨拶……………内田伸子

F-GENS拠点リーダー挨拶……………戒能民江

第1セッション: パネル・ディスカッション

家族の境界 表象・身体・労働の政治

特別報告: 「The Social Situation of Family Transformation and the Family Law Reform in Korea」
ビョン・ファスン (韓国女性開発院) [通訳有り]

特別寄稿: 「The Family in Law and Society」……………マーサ・A・ファインマン (エモリー大学) [代読]

パネリスト: 「女から生まれる——家族の解放／家族からの解放」(仮)……………岡野八代 (立命館大学)

「生殖技術と近代家族の融解」(仮)……………荻野美穂 (大阪大学)

「再生産領域のグローバル化とHouseholding」(仮)……………足立眞理子 (お茶の水女子大学)

コメンテーター: 伊田久美子 (大阪府立大学) / 石塚道子 (お茶の水女子大学)

司会: 天野知香 (お茶の水女子大学) / 足立眞理子 (お茶の水女子大学)

18:00—19:30 生協食堂

懇親会

11月19日(日) 開場9:30

10:00—12:30

若手企画セッション

〈身体〉のポリティクス 複合領域としてのジェンダー／セクシュアリティ研究の試み

【分科会A】「連続する身体——脱／セクシュアル化の視点から」 生活科学部本館209号室

報告者: 「中絶の〈権利〉に対するフェミニスト法学からの視座——〈ケアの倫理〉を手がかりに」……………山本千晶 (COE研究員)

「『十二夜』における女性同性愛の可能性」……………松尾江津子 (COE研究員)

「ホモソーシャル性の境界——1930年の『陰間』表象」……………黒岩裕市 (一橋大学大学院言語社会研究科博士課程)

「技術開発におけるセクシュアリティ——『医療の脱セクシュアル化』が女性におよぼす影響」

小門 穂 (COE研究協力者) 共同研究者: 三村恭子 (COE研究員) 水島 希 (COE研究員)

コメンテーター: 多田良子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) / 武内佳代 (COE研究員)

司会: 川原塚瑞穂 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程)

【分科会B】「〈老女〉の位相を問う——エイジングのジェンダー化をめぐる多角的アプローチ」 生活科学部本館306号室

報告者: 「統計から見える高齢女性の姿」……………水落正明 (COE研究員)

「変容する〈老人女性〉の身体——ドイツ19世紀の医学言説から」……………原 葉子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程)

「『菊慈童』におけるイマジナリーな領域——エイジング批評と倫理」……………倉田容子 (日本学術振興会特別研究員21COE)

コメンテーター: 齋藤暁子 (日本学術振興会特別研究員PD) / 古澤有峰 (東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)

司会: 大橋史恵 (COE研究員)

13:30—17:30 共通講義棟2号館201号室

第2セッション: シンポジウム

アジア発・ジェンダー研究の新領域を拓く

「再生産」と「テクノロジー」の社会的・文化的作用をめぐって

報告者: 「『国際商品』化される家事・介護労働とその『技能』の承認」……………伊藤るり (お茶の水女子大学)

「テクノロジー、労働と再生産: 北京、ソウルと日本の比較」……………永瀬伸子 (お茶の水女子大学)

「Web世界での『ジェンダー』の位相」……………館 かおる (お茶の水女子大学)

「〈暴力〉の表象／〈表象〉の暴力——メディアによる欲望の再生産」……………菅 聡子 (お茶の水女子大学)

コメンテーター: 松原洋子 (立命館大学) / 水野 勲 (お茶の水女子大学) / 棚橋 訓 (お茶の水女子大学)

司会: 戒能民江 (お茶の水女子大学) / 御船美智子 (お茶の水女子大学)

アジアにおけるグローバル化の一層の進展、ポスト冷戦期と呼びうる時代状況の中にある今日、近代主義の中軸をなしていた文化・政治・経済にわたる枠組みおよび枠組みを構成してきた諸要素そのものが変化・変容しています。お茶の水女子大学21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア(F-GENS)」は、これらの変化・変容する過程を、近代社会の「中心」に置かれてきた〈家族〉の視点から捉えなおそうと考えています。本シンポジウムでは、特に変容過程に焦点をあてるために、「家族の境界」をめぐって政治・法制度・経済・文化の領域横断的な捉えなおしを行うとともに、過去3年間にわたる各プロジェクトがおこなってきた研究集約型報告に基づいて議論を深めたいと思います。また、若手研究者による企画・報告セッションも設定されています。新たなジェンダー研究による、知と実践のあり方を模索していくことを期しています。

Borders of Family
Politics of Representation, Body and Labor

お茶の水女子大学21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」主催・第3回F-GENSシンポジウム

家族の境界
表象・身体・労働の政治



参加費無料(参加登録不要)

会場 お茶の水女子大学

〒112-8610文京区大塚2-1-1

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅・有楽町線「護国寺」駅より徒歩10分

問合せ お茶の水女子大学21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」事務局

TEL: 03-5978-5547 FAX: 03-5978-5548

Email: f-genszn@cc.ocha.ac.jp

URL <http://www.igs.ocha.ac.jp/f-gens/>

*当日、南門は閉門していますので東門(正門)からお入りください。

F-GENS

Frontiers of Gender Studies